

編集後記

最近ある分野外の研究者の方と議論する機会がありました。その方がおっしゃるには、母国語で科学に取り組めることがその分野の発展にとって非常に重要であると。昔は翻訳科学だったけれど、その翻訳という作業が本当の知的格闘で、外国語で表現されている概念を自分の知っている血の通った言葉に置き換えて体系化していく。確かにこれは本質を理解していないとできない作業だな、と共感した次第です。その昔中国ではインド外来の仏教を理解する際に、自分達に馴染みのある老荘思想に基づき経典を解釈、漢字に翻訳したそうです(格義仏教)。そんな仏教や漢字、朱子学などの中国文化を取り入れ発展させてきた日本では、西洋

の学問を摂取していく中で哲学や窮理学、物理学のような訳語を生み出してきました。こうした母国語で支えられている日本的な感覚、文化を糧にして、寺田寅彦は物理研究を推進しました。プラズマ(中国語では等離子体というそうです)では多種多様な形が生み出され共存することがよくありますが、こうした問題に立ち向かう時にも日本的感性(霊性)が役に立つのではないかと感じる時があります。

さて、本学会誌では解説記事などの執筆方針として、カタカナ語は避けてできるだけ日本語で説明してくださいという方針があったかと思います。和文誌として発刊される学会誌には、こういったところにもその存在意義があるのではないかと思う今日この頃です。(小菅佑輔)

プラズマ・核融合学会役員

会 長	吉田 善章	副会長	森 雅博(推薦委員長:学会賞)	豊田 浩孝(推薦委員長:研究助成, 男女共同参画委員長)
常務理事	下妻 隆(総務委員長)			
理 事	浅野 克彦(財務委員長)	浅野 史朗	荒卷 光利	
	内野喜一郎(支部・地区研究連絡会委員長)	大野 哲靖(企画委員長)	岸本 泰明(年会運営委員長)	
	久保 博孝(広報委員長)	小西 哲之	坂本 瑞樹(編集委員長)	
	神野 雅文	竹入 康彦(研究部会連絡委員長)	中井 光男	
	長谷川 晃	和田 元		
監 事	利根川 昭, 中村 圭二			

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ: 坂本瑞樹(筑波大) 副委員長: 荒卷光利(日大)
エディタ: 金子俊郎(東北大), 江尻 晶(東大), 中村祐司(京大), 城崎知至(広島大), 小西哲之(京大), 酒井 道(滋賀県立大)
編集委員: 青木 順(阪大), 浅井朋彦(日大), 有川安信(阪大), 伊藤篤史(核融合研), 諫山明彦(量研), 宇佐見俊介(核融合研), 大塚哲平(近畿大), 荻野明久(静岡大), 小倉浩一(量研), 尾崎 哲(核融合研), 乙部智仁(量研), 加藤 進(産総研), 桑原大介(東京農工大), 栗田弘史(豊橋技科大), 小菅佑輔(九大), 染谷洋二(量研), 高橋和貴(東北大), 竹内 希(産総研), 辻村 亨(核融合研), 時谷政行(核融合研), 藤井恵介(京大), 星野一生(慶応大), 松下恭子(東京理科大), 三重野哲(静岡大理), 三沢達也(佐賀大), 吉田雅史(山口大), 吉橋幸子(名大)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第95巻第1号

編集・発行
〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階 印刷 株式会社荒川印刷
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2019年(平成31年)1月25日
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485
E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: <http://www.jspf.or.jp/> 定価1,300円(税別)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。